

## 常夜燈

享和3年鶴瀬宿の中ほどに建てられた燈籠で、石尊宮参道の入口に位置します。

当時の甲州街道を往来する旅人の指標となりました。

## 御徒横手

天正10年に武田勝頼主従は駒飼・鶴瀬郷に滞陣しましたが、裏切られたため峠を越えられず天目山を目指しました。

途上の険しい道は「御徒横手」といいます。

## 鶴瀬宿・鶴瀬関所跡

駒飼宿との距離は2kmほどですが、かつての日川は増水すると通行止めになることが多く両岸に宿が必要でした。

甲州十二関の一つ鶴瀬関所があり、「入鉄砲に出女」を取り締まりました。

## 駒飼宿・本陣跡

駒飼宿は甲斐の御料牧場があった所といわれています。本陣1・脇本陣2・旅籠6の宿場で、地区では現在でも当時の屋号で呼び合うとのこと。

**甲州市民バス**  
×  
**甲州市フットパス**  
(駒飼宿・鶴瀬宿コース)

